



樋脇

私たち出張ボランティア隊が

お掃除します!!

8月5日(火)、樋脇中学校の生徒14人が地域の一人暮らしの高齢者宅を訪問し、草取りや障子張りなどのボランティア清掃を行いました。これは、生徒たちに地域住民と触れ合い、人の役に立つことの喜びを経験してほしいと始められたものです。



川内

プロの技に魅了!
貴重な経験ができました

8月11日(月)、サンアリーナせんだいで、Vプレミアリーグ男子バレーボールチーム堺プレイヤーズの選手によるバレーボール教室がありました。市内の小・中学生やママさんチームなど250人がパスやアタックの基本やコツなどの指導を受けました。



上甕

離島の災害救護に備えて
日ごろの訓練が大事

7月31日(木)、上甕コミュニティセンターで航空自衛隊第9警戒隊(下甕島分屯基地)による災害救護訓練が行われました。訓練には地元住民ら約70人が参加し、応急手当やAED講習などが実演され、災害時の対応について、理解を深めていました。



祁答院

竹を使って
昔の遊びを楽しみました

8月1日(金)、大村地区コミュニティセンターで、約30人の子どもたちが参加し、「昔の遊びを楽しもう」が行われました。高齢者から手ほどきを受け、紙鉄砲や竹とんぼを作って遊んだり、昼食には竹に入れて炊いたご飯を食べたりして楽しみました。



東郷

東郷の伝統が
受け継がれています

7月24日(木)から5日間、東郷土人形講座が開かれました。東郷土人形とは、郷土の粘土で作った形を素焼きにして色付けしたもので、簡素で素朴さが特徴です。講座では、幅広い年代の方が作製し、個性豊かな土人形が出来上がりました。



里

黒潮に響け音の交流
メロディの架け橋

8月8日(金)、里公民館で「甌の風 音楽祭」が開催されました。里小・中学生の演奏や今回のために関東の学生で結成されたアンサンブル・ルヴァールによるオーケストラや合唱の披露、また、来場者も参加しての合唱など素晴らしい音楽祭でした。



東郷

熱戦!好プレー続出!
どろんこスポーツで親睦の輪

8月3日(日)、鳥丸地区の田んぼで、東郷青年団どろんこフェスティバルが開催され、ミニバレー・ドッジボール・どろんこフラッグの三種目で熱戦が繰り広げられました。ミニバレーでは、泥で顔まで真っ黒になる参加者もいて、笑顔のたえない一日でした。



祁答院

外来魚を釣って
生態系を守ります

8月3日(日)、蘭牟田池で、地元住民ら約60人が参加し、外来魚釣り大会が開催されました。参加者は釣りを楽しみながらブルーギルなどの外来魚を駆除しました。また、大会後は、池周辺の景観を良くするためにコスモスの種まきが行われました。



川内

400年続く伝統の踊り
「想夫恋」

8月16日(土)、久見崎町で県指定無形民俗文化財の久見崎盆踊り「想夫恋」が行われ、黒ずきんに紋付き姿の女性たちが、三味線や太鼓の音に合わせて厳かな踊りを披露。本年より、会場を川内川河口が望める海沿いの日山に移し再出発しました。



川内

風にも負けずゴールを目指して!全速力で前進ダア!



みんなで息を合わせてこぎ、前進するレガッタ

8月10日(日)、川内川がらっぱカヌー競技大会と川内レガッタが太平橋から開戸橋の間で開催されました。

まず、カヌー競技大会では、市内を中心に小・中学生、一般の参加者、約350人が出場し、川内川の中央に設置されたブイを折り返す120mのコースで、日ごろ学校で練習している成果を競い合いました。

また、川内レガッタでは、県内外の企業などから41組(5人1組)の参加があり、直線400mのコースを、チーム一丸となってオールをこぎ、タイムを競い合いました。



里

自衛隊ヘリコプター
一般公開

7月16日(水)、みなと公園において、町内で訓練している熊本県の陸上自衛隊によるヘリコプターの一般公開が行われました。参加した子どもたちは、隊員からの説明を聞いた後、ヘリコプターに乗り込むと初めての体験に目を輝かせていました。